

すくすく みどり

No. 16

* 観葉植物の育て方 *



編集
発行

財団法人 札幌市公園緑化協会

〒060-0051 札幌市中央区南1条東2丁目 南1条タカハビル2階

TEL 011-211-2579

<http://www.sapporo-park.or.jp/>



この冊子は、緑と地球環境保護のため古紙100%の再生紙と大豆インキを使用しています。

財団法人札幌市公園緑化協会

はじめに

植物は私たちの目を楽しませ、心身をリラックスさせてくれます。特に冬の長い北国では花や緑が貴重ですし、四季や室内・戸外を問わずに鮮やかな花と緑があるとそれだけでホッとしたり、華やかで豪華な雰囲気を演出してくれたりします。

この冊子はこうした花と緑の中でも、私たちの身近にある観葉植物の育て方をテーマに解説しています。

もちろん書店でもこうしたテーマの本が数多く出回っています。しかし、本州、特に関東地方を標準としたものでは、札幌と気候条件が大きく異なるため、解説されている栽培方法に無理があったり、時として全く逆のことが解説されていたりします。

四季だけをとても長く寒い冬、遅く短い春、梅雨のないさわやかな初夏、涼しく夜温の下がる夏、短い秋など、本州と札幌では気候が大きく異なります。

一見、寒い冬の問題などから、北国は園芸にとって不利であるかのように思われがちですが、寒暖の差が大きいので果実などが甘くなったり、本州方面では栽培が難しい夏の暑さやムレに弱い植物でも、札幌では元気に育ったり、花や葉の発色が鮮やかであったりします。

この冊子は、北国札幌で植物を扱う上での特徴や優位性、楽しさなどを紹介し、花と緑にふれあう環境づくりに役立てていただくことを願って作成しています。

また、この冊子作成に当たりましては、皆様からいただいた募金（札幌市都市緑化基金）の果実（利子）を使わせていただいております。

紙面で失礼ではございますが、ご協力をいただいた皆様への感謝とともに、さらなる札幌市都市緑化基金積立へのご協力をお願い申し上げます。



目次

第15回 緑と花のフォトコンテスト優秀賞作品	P2～3
第37回 緑の絵コンクール大賞作品	P4～5
室内にやすらぎとうるおいのある緑を	P6～7
よい株の選び方	P8
病虫害の防除	P8
植え替え	P9
● 植え替えが必要な鉢の目安	
● 植え替えの時期	
● 植え替えの方法	
観葉植物のふやし方	P10～11
● 挿し木・株分け・取り木	
観葉植物の年間管理	P12～15
● 夏場の管理のポイント	
● 冬場の管理のポイント	
● 湿度を高める工夫	
● 冬の室内環境と各所の環境に適する植物	
観葉植物ミニ図鑑	P16～27
緑の相談	P28～29
札幌市都市緑化基金	P30～33

この冊子の内容をもっと詳しくお知りになりたい方、または他の植物の育て方などについてお知りになりたい方は、「緑の相談（P28～29参照）」をご利用ください。専門の相談員があなたのご質問にお答えします。

植物の栽培はいろいろな方法があります。この冊子の内容につきましても、ひとつの目安としてご利用ください。

第15回緑と花のフォトコンテストには、
四ツ切部門に60名122点、サービスサイズ部門に58名224点、
計118名346点の力作が寄せられ、審査の結果、
四ツ切部門優秀賞3点、同入選10点、サービスサイズ部門
優秀賞3点、同入選10点を選考いたしました。

四ツ切部門 優秀賞



作品名「ピクニック」
撮影者 東 久子 さん



作品名「緑薫る瀬音」
撮影者 見越 芳男 さん



作品名「幻影」
撮影者 水口 きみえ さん

第15回 (平成15年度) 緑と花の フォト コンテスト

第16回 緑と花のフォトコンテストも、札幌市内の公園や緑地での花や緑、
自然とのふれあいなどをテーマとして皆様からのステキな作品、
ほのぼのとした楽しい作品を募集しています。
広報さっぽろなどでお知らせします。
(メ切:平成16年8月末日)

サービスサイズ部門 優秀賞



作品名「光芒」
撮影者 矢部 修治 さん



作品名「スズラン」
撮影者 須田 美佐子 さん



作品名「こっち向いて」
撮影者 柳渡 利雄 さん

第37回
(平成15年度)

緑の絵コンクール



小学生の部

大賞作品

札幌市立大谷地東小学校
2年生

渡部 桜さん

緑の絵コンクールは、毎年、札幌市内の小中学生を対象として札幌市環境局緑化推進部と財団法人札幌市公園緑化協会の共催で実施しています。

第37回緑の絵コンクールは小学校から25校77点、中学校から12校436点、計513点の応募があり、小学生の中から渡部桜さん、中学生の中から小稲聡美さんの作品を大賞作品として選考しました。



中学生の部

大賞作品

札幌市立琴似中学校
3年生

小稲 聡美さん



私

たちの生活空間は、昔と違い住環境の向上により家の隅々まで暖房が効いている一方で、室内の極端な乾燥が私たちの健康に少なからず影響を与えています。

観葉植物をはじめ植物には、人間が吐き出す炭酸ガスと引き替えに人間に必要な酸素を供給したり、葉を通じて水分を放出することによって乾燥した室内に湿り気を与えるなど、私たちの生活と健康にとってかけがえのない働きをしてくれているほか、うるおいとやすらぎを与えてくれます。

観葉植物は様々な緑の葉の濃淡のほか、紫や赤などの葉、白や黄色の模様の入った葉などがあり、使い方や置き場所によっては花だけを楽しむ植物よりも、葉の形や色の組み合わせを長く楽しむことができ、おしゃれなインテリアにもなることから、たくさんの方に利用され愛されています。

本州とは違って1年のうち約半分を室内で植物と付き合うのが、北国に住む私たちの宿命ですが、だからこそ、もっともっと観葉植物とうまく付き合いたいものです。

家

庭やオフィス、店舗などで広く親しまれている観葉植物ですが、植物の生育にとってはどこに置いてもよいというわけではありません。観葉植物を上手に育てるためには、他の植物と同様に室内の明るさや温度、湿度に合わせて配置すること、栽培特性をよく理解すること、そして種類によっては夏に屋外で伸び伸びと十分な光を浴びさせて元気に育てることが大切なポイントになります。

室内にやすらぎと うるおいのある緑を

暮らしの知恵

暮らしの知恵



葉

に観賞価値があり、一年中観賞できるものを一般に観葉植物と呼んでいますが、観葉植物の多くは、温度や湿度が高い熱帯や亜熱帯のジャングルを自生地とします。一般に観葉植物として出回っているものは、他の植物と比べて様々な環境に耐えるもの、病虫害にかされにくいものといった強健種であることが多いようです。

私

たちが観葉植物を育てる場合はほとんどが室内ですが、できるだけ自生地に近い生育環境に合わせる必要があります。また種類によって生育に差があり、置き場所となる室内の環境に慣らすことも重要です。

観

葉植物は大きく2種類に分けることができます。ひとつは、自生地で数mにも伸びるゴム類やシェフレラなどの木本植物と、ポトスやサンセヴィエリアのような草本植物です。もうひとつは、自生地で下草として生えているようなシダ植物です。また観葉植物は、姿かたちだけをとっていても、背丈の高い植物と低い植物、葉の丸い植物と細長い植物など実に様々です。室内で育てる場合はこれらを手前に組み合わせて立体的に飾ったり、明るい窓辺ならヤシ類、やや暗い場所ならシダ類を中心にするなどしてバリエーションを広げるとともに、室内の環境と好みに合ったものを配置するとよいでしょう。

よい株の選び方

観葉植物の種類により生育に必要な温度や明るさ、湿度などが違うので、鉢を置く場所の環境（一日の最高温度と最低温度、日照時間、また日当たりの強さなど）を把握した上で、次のことに気をつけましょう。

- 茎や葉につやがあり、葉が十分に茂っているもの
- 病気や害虫がついていないもの
- 姿が美しく、株元がぐらついていない安定感のあるもの
- 根詰まりがひどくないもの
(鉢穴から根が出ていたり、葉先が変色していないなど)
- 冬の寒風にさらされていないもの (春から初夏が最も購入の適期)

※植物の名前は正確に知っておきましょう。残念ながら現在販売されているもので正確な植物名ラベルがついているものは少ないようです。観葉植物については比較的簡単に図鑑などで調べることができますし、植物の自生地などもわかれば栽培の目安に役立ちます。

購入後の管理 ワンポイント

観葉植物は、購入時に根詰まりを起こしていたり、鉢土も室内で栽培するには耐えられない用土であることが多いようです。そのような場合、その後の生育のために、購入後すぐに鉢ゆるめをしましょう。

鉢ゆるめは植え替えと違い、時期を選ばないのでいつでも行うことができます。鉢ゆるめをすることによって植物が根を伸ばす空間が確保されるので、その後の成長期には植物が元気に育ちます。鉢ゆるめは、根を傷めないように、根鉢の外側(周面)の根だけ少し崩してから、2号ほど大きい鉢に替えます。足す土は市販の観葉植物用の土を用います。



病虫害の防除

もともと観葉植物は病虫害が付きにくい強健なものが多く、栽培環境が適切で健全な株であれば病虫害の心配はほとんどありませんが、栽培環境が不適切だとそうではありません。ですから株を健全に育てるためにも、日当たり、風通し、温度、水やり、肥料、植え替えなど日常の栽培管理に注意を払いたいものです。

しかし、病虫害の発生原因は多様で、日常の管理を適切に行っていたと思っても発生することがあるので、この場合は早期防除に努め、室内ではあまり農薬を使わないようにします。害虫ではカイガラムシ、ハダニ、アブラムシが三大害虫で、特に屋外からの入室時に入り込むことが多く、放っておくと冬の高温乾燥した室内で被害が拡大することもあるので注意しましょう。

植え替え

観葉植物は生長するに従い、鉢の中で根が広がります。長い間そのままにしておくと新しい根を伸ばすスペースがなくなり、灌水しても水が通らなくなってしまうので水分や養分を吸収できず、また根から呼吸することもできずに株自体が弱ってきます。植え替えは根詰まりをおこして弱る前に行いたいのですが、根詰まりをおこした株については必ず行います。

★ 植え替えが必要な鉢の目安 (多くのものは2~3年に1回)

- 水やりしても鉢の中にすぐ入らず、鉢土の上にたまる排水の悪い土
- 葉のつやがなくなったり、葉色が黄変して新芽が伸びてこない鉢
- 葉先が枯れ込んできたり、下葉が落葉し始めた鉢
- 鉢土が鉢より盛り上がりすぎてきた鉢
- 鉢土の上や鉢底から根が伸び出している鉢

★ 植え替えの時期

一般的には5月が植え替えの適期とされています。ただし、北国での植え替え時期の考え方として、「もうひとつ」の植え替え時期を積極的に取り入れることを提案したいと思います。

「もうひとつ」の植え替えと栽培管理について

北国の冬の室内は暖房によって室温が確保されていても乾燥が激しいので栽培環境としては厳しいと言えます。その環境に耐える株に春から夏の終わりまでの生育期に育てておくことがたいへん重要です。特に北国では秋の訪れが早いので、生育期が本州より1ヵ月ほど早く終了してしまいます。

そこで冬に耐えうる充実した株をつくる生育期間を確保するために、室内の温度を12℃以上に保つことができるのであれば(生育期の開始を早めることができれば)、日差しの強さが回復してくる2月中旬から3月上旬ごろに植え替えを行うとよいでしょう。

その後1~2週間は根を活着させる重要な時期で、光をあまり必要としないので半日陰に置きます。しかし温度と湿度は上げる必要があるため、最低温度に注意してしっかり保温すること、そして株ごとすっぽりビニールをかけてこまめな霧吹きをするなどで湿度を高める工夫もしましょう。これ以降は、間伸びさせないためにも日当たりが必要とされます。

★ 植え替えの方法

株をこれ以上大きくしたくない場合

根周りの土を1/3ほど落とし、元の鉢と同サイズの鉢に植え替えます。このとき、伸びすぎた根を切りますが、同程度の茎や葉もカットします。



さらに株を大きくしたい場合

根周りの固まった土を軽く崩し、元の鉢のひと周りかふた周り大きな鉢に植え替えます。根を傷めていないので地上部はそのままにします。



観葉植物のふやし方

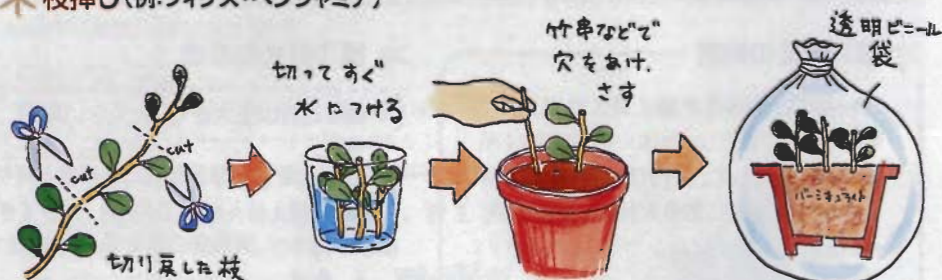
栽培する植物の数を増やす場合はもちろんのこと、株の更新を図ることを目的として行います。時期は温度、湿度が確保できればいつでも可能です。冬の暖房を生かすことができるのは北国だからこそです。湿度の確保はビニールで覆うなどして工夫しましょう。

挿し木

植物が発根しやすい部分を切ってふやす方法です。挿し木する部分によって枝挿し、葉挿しなどの方法があります。

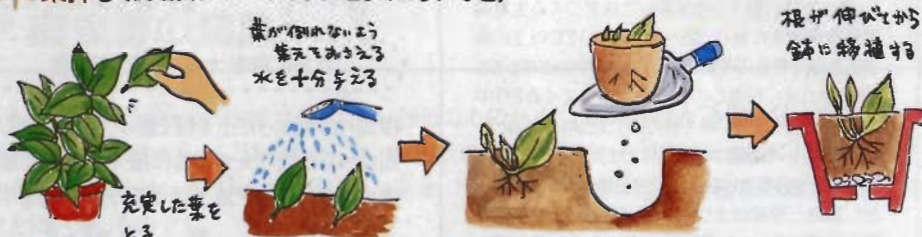
【挿し木できる種類】ヘデラ、ゴムノキの仲間、ドラセナ、ポトス、ペペロミア、クロトンなど

＊枝挿し(例:フィクス・ベンジャミナ)



- 1 切り落とした枝をすぐに水につけます。(水揚げ)
- 2 約12時間水揚げした枝の葉を整理します。
- 3 下葉を2,3枚取り、上の葉は2,3枚残します。
- 4 小さめの鉢にパーライトかバーミキュライトなどを入れ、たっぷりと水をかけます。
- 5 竹串などで土の表面に穴を開け、そこに枝を挿します。
- 6 観葉植物は特に高めの湿度を好むのでビニール袋で覆って温室のような状態をつくります。

＊葉挿し(例:観葉ペゴニア、サンセヴィエリアなど)

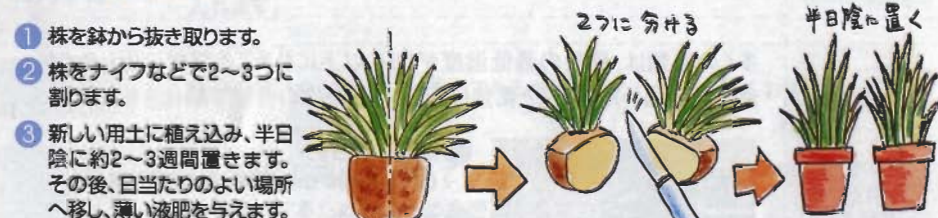


- 1 用土は、パーライトかバーミキュライトなどを使います。
- 2 大きい葉は太い葉脈を中心にして、数回に分割します。
- 3 葉が倒れない程度の深さに挿し、葉元はしっかりおさえておきます。
- 4 1～2ヶ月で発根します。根が十分に伸びたら鉢に移植します。

株分け

株が大きくなりすぎて下葉が黄変したり、根詰まりした株に植え替えを兼ねて行うとよいでしょう。一般に、親株を2～3等分するのが適当です。

【株分けできる種類】シダ類、アナス類、カラテア、アロエ、カンノンチク、オリヅルラン、アグラオネマ、スパティフィラムなど



- 1 株を鉢から抜き取ります。
- 2 株をナイフなどで2～3つに割ります。
- 3 新しい用土に植え込み、半日陰に約2～3週間置きます。その後、日当たりのよい場所へ移し、薄い液肥を与えます。

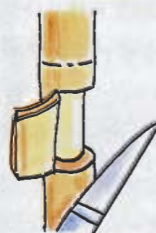
取り木

株が大きくなりすぎたり、下葉がなくなり見苦しくなったものなどを更新する場合に行います。

【取り木できる種類】ゴムノキの仲間、ドラセナ類、シェフレラ、クロトンなど

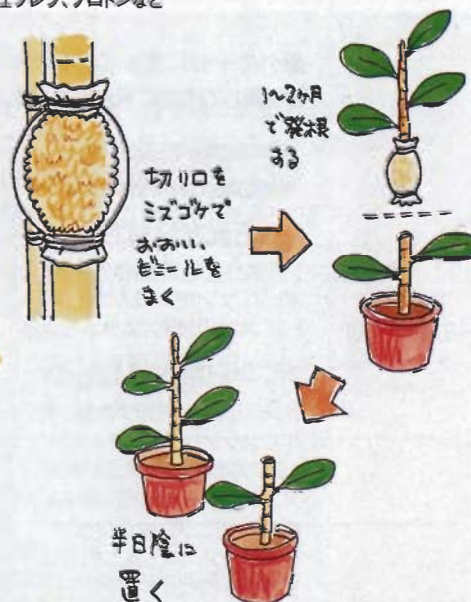
＊環状剥皮法

- 1 ナイフで幹の皮に切れ目をつけ、切った皮をぐるりとはがします。



＊舌状剥皮法

- 1 ナイフで木質部まで完全に斜めに切り込みを入れ、1～2節切り上げます。



- 2 切り口から出る乳液を水で洗い、湿らせたミズゴケを巻きつけます。
- 3 ビニールフィルムなどでミズゴケを覆い、ビニールの上から軽くヒモで縛ります。
- 4 1～2ヶ月で発根します。発根後、株を切り離して別の鉢に植え込み、半日陰に約2～3週間置きます。
- 5 その後、日当たりのよい場所へ移し、薄い液肥を与えます。

観葉植物の年間管理

観葉植物は一般に高温・多湿で半日陰を好むものが多いのですが、中には日光を好むものもあります。それぞれの性質にあった管理が大切です。

5月

植え替えの最適期です（根腐れの場合は適期以外でも行います）。

5月中・下旬
～6月上旬

多くの種類は、屋外の最低温度が10℃以上になるころ屋外に出しますが、急に光の強い所に置くと葉焼けを起こすので次の方法で順化させます。



- ① 外気に慣らす
(例:5月中旬からの1週間は家の北側に置く)
- ② 光に慣らす
(例:5月下旬からの1週間は午前中に光が当たる東側に置く)
- ③ 光にたっぷり当たることができる南側に置く。
遮光を必要とするものは②のままか緑が茂る木の下などに置きます。

屋外で十分に光とそよ風と雨に当てて株を充実させます。肥料は置き肥と液肥を併用して肥培に努めます。挿し木や取り木は高温多湿期の6～7月が適期です。

観葉植物と日当たりの関係

★ 日光を好むもの
ソテツ、ヘデラ、ゴムノキの仲間、ポトス、サンセヴィエリア、クロトン、オリヅルランなど

★ 半日陰を好むもの
アンスリウム、アナナス類、ポトス、ドラセナ、ヤシ、マランタ、トラデスカンティア、モンステラ、アスプラガス、アジアンタム、観葉ベゴニア、タニワタリ、ペペロミア、フィットニア、ディフェンバキアなど

7月下旬
～8月中旬

屋外管理した鉢は十分に光を当てて9月中旬の入室準備をします。耐寒性を高めるためカリ分の肥料を与え、病虫害に注意します。

9月中旬

屋外の最低温度が10℃以下になるころ害虫の寄生に十分注意して室内に入れます。

9月中旬
～10月

朝夕の寒さから守ります。またできるだけ日当たりのよい所におきます。

夏場を生長期とするなら、この時期は停滞期と言えます。株を維持するための控えめな管理を心がけましょう。

生育最低温度を厳守し、朝夕の寒さから守り、できるだけ日当たりのよい所に置きます。室温が安定して保たれる場合は7～10日毎に液肥のみを与えます。冬の室内は乾燥気味となるので、こまめに霧吹きをしましょう。



冬場の管理のポイント

観葉植物は熱帯性のものが多いので、冬季間の温度や日当たり、湿度などに注意することが大切です。これらを適正に保つことができない場合はむしろ低温気味で育てたほうが無難でしょう。

冬場は植物の置き場所の環境によって管理方法が変わります。

❄️ 一日中暖房が効き、日中20～25℃、夜間は最低15℃以上の室温が保たれている場合

高温半日陰を好む種類 湿度を高める工夫をします。

白当たりを好む種類 どうしても冬場は日当たりが少ないため温度が高いたけでは間伸びしてしまうので、少し室温の低い場所で、生育させずに冬越しした方がよいでしょう。

❄️ 日中だけ暖房を入れて、夜間は停止又は微少運転の場合
生育はあまり促進されません。また最低温度に注意します。

❄️ 暖房を入れない部屋の場合
生育は停止します。（低温に耐えられる植物だけを置きましょう。）

※人間が感じる温度はとてもあいまいで人それぞれ感じ方が違います。ですから、植物の置き場所の温度変化をある程度正確に把握するために、一日の最高と最低の温度がわかる最高最低温度計を利用することをおすすめします。

湿度を高める工夫

一般に多くの観葉植物の自生地は高温・多湿の環境であるため、空気中の湿度が高い状態を好みます。

高温期の屋外ではジョウロやホースで灌水して株全体に水をかけます。この際、葉の表面にも勢よく水をかけるとハダニの発生を防ぐことができます。

低温期には霧吹きなどでの葉水（シリンジ）が最も簡単な方法ですが、すぐに乾いてしまうため、次の方法を併用するとよいでしょう。

水を張った皿を利用する
(受け皿に水をためることはありません)



植物をまとめて置く



風呂場や台所などの水周りの利用



❄ 冬の室内環境と各所の環境に適する植物 ❄

台所

【日当たり】
やや悪い
【温 度】
中温
【湿 度】
やや高い

●こんな植物に最適
日陰・多湿を
好む植物

居 間

【日当たり】
良い
【温 度】
高め
【湿 度】
低い

●こんな植物に最適
高温・乾燥に強い
植物

●こんな植物に最適
低温・日陰に強い
植物

玄 関

【日当たり】
悪い
【温 度】
低い
【湿 度】
やや高い

風呂場

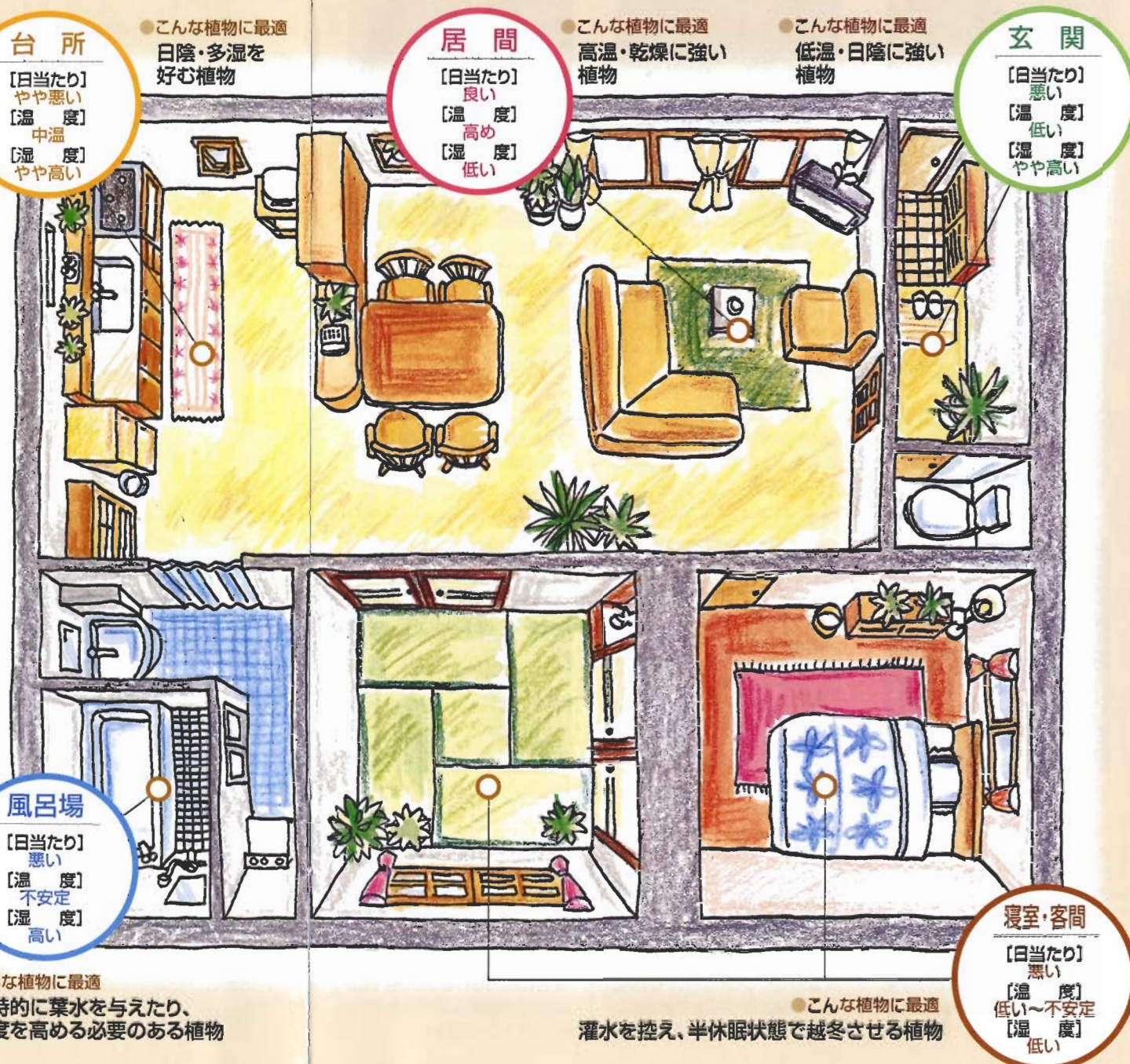
【日当たり】
悪い
【温 度】
不安定
【湿 度】
高い

●こんな植物に最適
一時的に葉水を与えたり、
湿度を高める必要のある植物

寝室・客間

【日当たり】
悪い
【温 度】
低い～不安定
【湿 度】
低い

●こんな植物に最適
灌水を控え、半休眠状態で越冬させる植物



観葉植物ミニ図鑑



アグラオネマ
‘シルバー クイーン’
Aglaonema cv. Silver Queen

- 原種はアフリカの一部とマレーシア熱帯地域に分布
- サトイモ科
- 15℃以上

日陰を好む。葉焼けに注意するが、あまり遮光すると葉が間伸びする。高温多湿を好む。カイガラムシ、ハダニに注意。



アジアンタム ラッディアナム
Adiantum radicans

- 熱帯アメリカに分布
- ワラビ科
- 3℃以上
- 和名:カラクサホウライシバ

半日陰を好む。強風、水切れ、空中湿度不足による葉枯れに注意。傷んだ葉はこまめに取り除く。



アロカシア オドラ
Alocasia odora

- インド北部から中国大陸北部、台湾、南西諸島さらに四国南部まで広く分布
- サトイモ科
- 3℃以上
- 和名:クワズイモ

高温多湿、半日陰を好む。空中湿度が低いと葉先が枯れ込む。ハダニ、カイガラムシに注意。



アンズリウム アンドレアナム
Anthurium andreanum cv.

- 原種はコロンビア、エクアドルに分布
- サトイモ科
- 10℃以上
- 和名:オオベニウチワ

高温多湿、半日陰を好む。あまり光線が不足すると花付きが悪い。根詰まりに注意。



エpipremnum アウレウム
Epipremnum aureum

- ソロモン諸島に自生
- サトイモ科
- 10℃以上
- 和名:オウゴンカズラ
- 流通名:ポトス

半日陰を好むが、光線が不足すると徒長し、葉色が低下する。低温時の過湿に注意。



アスパラガス セタケウス
‘ナナス’
Asparagus setaceus cv. Nanus

- 原種は南アフリカに自生
- ユリ科
- 0℃以上
- 和名:シノブボウキ

強健。陽光を好む。低温時は灌水を抑える。根の生育が旺盛なので根詰まりに注意する。



アナナス ブラクテアツス
Ananas bracteatus

- ブラジルに自生
- バイナッブル科
- 5℃以上

高温多湿、強光を好む。一度開花した株は再び花をつけることはないで、新しく苗を育てる。



アロエ ノビリス
Aloe nobilis

- 南アフリカに自生
- ユリ科
- 0℃以上
- 園芸名:不夜城

春から秋は十分に日光に当てる。低温時は極端に灌水を抑える。カイガラムシに注意。



カマエドレア ザイフリッツィー
Chamaedorea seifrizii

- メキシコに自生
- ヤシ科
- 8℃以上
- 流通名:テーブルヤシ

多湿、半日陰を好む。直射日光による葉焼けに注意。ハダニ、カイガラムシに注意。



カスタノスペルムム
アウストラレ
Castanospermum australe

- オーストラリア北東部に自生
- マメ科
- 5℃以上
- 流通名:ジャックと豆の木

耐陰性は比較的強いが、本来は陽光を好む。生育旺盛。水切れ、カイガラムシに注意。



カラテア マコヤナ
Calathea makoyana

- ブラジルのミナスジェライスに自生
- クズウコン科
- 12℃以上

高温、半日陰を好む。空中湿度の不足、水切れにより葉が枯れやすい。カイガラムシに注意。



カラディウム
Caladium cv.

- 原種は南アメリカの熱帯に分布
- サトイモ科
- 10℃以上
- 流通名:カラジューム

夏はやや遮光する。晩秋から水やりを控えて休眠させ、鉢のまま室内で貯蔵する。



キカス レウオルタ
Cycas revoluta

- 九州南部、沖縄からジャワにかけて自生
- ソテツ科
- 0℃以上
- 和名:ソテツ

低温にも強く強健。生育期の春から秋までは戸外で十分に日光に当てる。低温時の過湿に注意。



キッス ロンビフォリア
‘エレン・ダニカ’
Cissus rhombifolia cv. Ellen Danica

- 原種はコロンビア、ブラジル、西インド諸島からメキシコにかけて分布
- ブドウ科
- 5℃以上

耐陰性は強いが、あまり光線が不足すると落葉する。低温時の過湿、カイガラムシに注意。



クブレッス マクロカルパ
‘ゴールドクレスト’
Cupressus macrocarpa cv. Goldcrest

- 原種はメキシコ、カリフォルニアに分布
- ヒノキ科
- 0℃以上
- 和名:モントレイ サイプレス

年中日当たりを好む。冬の室内の高温乾燥、低温時の過湿に注意。



クラッスラ ボルソラケア
Crassula perfoliata cv.

- 原種は南アフリカケープ州南部からナタール州に分布
- ベンケイソウ科
- 3℃以上
- 流通名:金のなる木
- 園芸名:花月

日当たりを好む。乾燥に強い。低温時の過湿、カイガラムシに注意。



クリサリドカルプス
ルテスケンス
Chrysalidocarpus lutescens

- マダガスカルに自生
- ヤシ科
- 8℃以上
- 和名:アレカヤシ

耐陰性は比較的強い。強光による葉焼け、カイガラムシに注意。水切れ、根詰まりを起こすと葉先が枯れる。



ギバシス ヘルキダ
Gibasis pellucida

- メキシコに自生
- ツユクサ科
- 0℃以上
- 流通名:ブライダルベール

夏はやや遮光するが、できるだけ日に当てる。光線が不足すると開花しない。根詰まりに注意。挿し木で株を更新する。



キペルス
アルボストリアツス
Cyperus albostratus

- 南アフリカに自生
- カヤツリグサ科
- 3℃以上
- 流通名:シベラス

強光を好み、夏の直射日光下で育つ。葉が傷むので強風には注意。水切れさせないようにする。



グズマニア マグニフィカ
Guzmania X magnifica cv.

- 原種はフロリダ南部からブラジルと、西インド諸島に分布
- バイナップル科
- 5℃以上

強健。半日陰を好む。一度開花した株は再び花を付けることがないので、子株を育てる。



クロランツス スピカツス
Chloranthus spicatus

- 中国に自生
- センリョウ科
- 0℃以上
- 和名:チャラン

強健。耐陰性、低温に強い。空中湿度は高めに保つ。



クロロフィツム コモスム
Chlorophytum comosum

- 南アフリカからナタールに分布
- ユリ科
- 9℃以上
- オリヅラン

日当たりを好む。光線が不足すると斑が鮮明に出ない。乾燥には強い。根詰まり、カイガラムシに注意。



ケロベギア ウッディー
Geropogon woodii

- ナタールに自生
- ガガイモ科
- 8℃以上
- 和名:ハートカスラ

夏の強光線以外は、できるだけ日に当てる。乾燥には強い。過湿に注意。



コディアエウム
ウァリエガツム

Codiaeum variegatum cv.

- 原種はマレー半島と太平洋諸島に分布
- トウダイグサ科
- 10℃以上
- 和名:クロトンノキ、ヘンヨウボク

高温、強光を好む。低温で落葉する。ハダニに注意。



コフェア アラビカ

Coffea arabica

- 熱帯東部アフリカに自生
- アカネ科
- 8℃以上
- 和名:アラビアコーヒー
- 流通名:コーヒーノキ

夏の強光線以外は、できるだけ日に当てる。低温時の過湿、カイガラムシに注意。



コルディリネ ストリクタ

Cordyline stricta

- 亜熱帯オーストラリアに分布
- リュウゼツラン科
- 5℃以上
- 流通名:アオドラ

強健。耐陰性が強い。ハダニ、カイガラムシに注意。



シンゴニウム ポドフィラム

Syngonium podophyllum cv.

- 原種は中央アメリカに分布
- サトイモ科
- 8℃以上

高温、半日陰を好む。あまり光線が不足すると間伸びする。低温時の過湿、ハダニに注意。



ストレリチア レギナエ

Strelitzia reginae

- ケープの東部からインド洋側のポート・エリザベス付近に分布
- パショウ科
- 9℃以上
- 和名:ゴクラクチョウカ

耐陰性も比較的あるが、本来は陽光を好む。カイガラムシに注意。



スパティフィラム

Spathiphyllum cv.

- 原種は熱帯アメリカ、南東マレーシアに分布
- サトイモ科
- 8℃以上

耐陰性は強いが、光線が不足すると花が上らない。根詰まりに注意。



サンセヴィエリア
トリファスキアタ‘ローレンティー’

Sansevieria trifasciata cv. Laurentii

- 原種は亜熱帯アフリカに分布
- リュウゼツラン科
- 5℃以上
- 和名:アズバチセラン

強健。年中日当たりを好む。乾燥には強く、特に低温時の過湿に注意。



シェフレア アルボリコラ

‘ヴァリエガタ’

Schefflera arboricola cv. Variegata

- 原種は台湾、中国南部に分布
- ウコギ科
- 3℃以上
- 和名:ヤドリフカノキ
- 流通名:斑入りカボック

耐陰性は強いが、できるだけ明るい半日陰に置く。低温時の過湿、カイガラムシに注意。カイガラムシに注意。



シェフレア アルボリコラ

‘ホンコン’

Schefflera arboricola cv. Hong Kong

- 原種は台湾、中国南部に分布
- ウコギ科
- 3℃以上
- 和名:ヤドリフカノキ
- 流通名:ホンコンカボック

耐陰性は強いが、できるだけ明るい半日陰に置く。低温時の過湿、カイガラムシに注意。



セネキオ ローレイアヌス

Senecio rowleyanus

- ナミビア南部に自生
- キク科
- 3℃以上
- 流通名:グリーンネックレス
緑の鈴

明るい半日陰を好む。乾燥には強く、特に低温時の過湿に注意。



ゼブリナ

Zebrina

- 北アメリカ南部から中央アメリカに分布
- ツユクサ科
- 3℃以上

明るい半日陰を好む。あまり光線が不足すると斑が鮮明に出ない。低温時の過湿に注意。



ディゴテカ エレガントッシマ

Disygotheca elegantissima

- 南太平洋諸島のニュー・ヘブリデス諸島に自生
- ウコギ科
- 3℃以上
- 和名:モミジバアラリア
- 流通名:アラリア、アラレア

明るい半日陰を好む。比較的低温にも強いが、灌水が多いと根腐れを起こす。カイガラムシに注意。



ディフェンバキア 'カミラ'
Dieffenbachia cv. Camilla

- 原種は熱帯アメリカに分布
- サトイモ科
- 10℃以上

高温、半日陰を好む。夏の強光線による葉焼けに注意。ハダニ、カイガラムシに注意。



ティランジア キアネア
Tillandsia cyanea

- エクアドル南部に自生
- バイナッブル科
- 3℃以上
- 和名:タチハナアナナス

陽光を好む。葉水はこまめに与えるが、低温時は乾かし気味にする。



ドラカエナ コンキンナ
'トリカラー レインボー'
Dracaena concinna cv. Tricolor Rainbow

- 原種はモーリシャスに自生
- リュウゼツラン科
- 8℃以上
- 和名:ベニフクリンセンネンボク

高温多湿、明るい半日陰を好む。光線が不足すると葉色が鮮明に出ない。高温時の乾燥、ハダニに注意。



トラデスカンティア
Tradescantia

- 北アメリカ、熱帯アメリカに分布
- ツユクサ科
- 3℃以上

乾かし気味にすれば比較的低温に耐える。光線が不足すると徒長し、斑が鮮明に出ない。



ネフロレビス エクサルタタ
ポストニエンシス 'テディー ジュニア'
Nephrolepis exaltata var. bostoniensis cv. Teddy Junior

- 原種はフロリダ、バハマ、大アンチル諸島、ジャマイカ、メキシコに分布
- シノブ科
- 5℃以上
- 和名:ツディタマシダ

耐陰性は比較的強い。夏の強光線による葉焼け、多湿による蒸れに注意。根詰まりを起こしやすい。



ノリナ レクルヴァタ
Nolina recurvata

- メキシコ、北アメリカの乾燥地に分布
- リュウゼツラン科
- 0℃以上
- 和名:トックリラン

強健。年間を通じて陽光を好む。乾燥には極めて強く、過湿を嫌う。カイガラムシに注意。



ドラカエナ コンキンナ
'トリカラー'
Dracaena fragrans cv. Massangeana

- 原種はモーリシャスに自生
- リュウゼツラン科
- 8℃以上

高温多湿、明るい半日陰を好む。光線が不足すると葉色が鮮明に出ない。高温時の乾燥、ハダニに注意。



ドラカエナ テレメンシス
'ウィレンス'
Dracaena deremensis cv. Virens

- 原種は熱帯アフリカに分布
- リュウゼツラン科
- 5℃以上
- 流通名:アオワネッキー

強健。ドラセナの中で最も耐陰性が強い。ハダニ、カイガラムシに注意。



ドラカエナ フラグランス
'マッサンゲアナ'
Dracaena fragrans cv. Massangeana

- 原種はギニア、ナイジェリア、エチオピアに分布
- リュウゼツラン科
- 8℃以上
- 和名:ニオイセンネンボク
- 流通名:幸福の木

高温、明るい半日陰を好む。乾燥時のハダニに注意。



パキラ グラブラ
Pachira glabra

- メキシコ南部からブラジル、ペルーにかけて分布
- バンヤ科
- 5℃以上

耐陰性は比較はあるが、本来は陽光を好む。ハダニ、カイガラムシに注意。



ピレア カディエレイ
Pilea cadierei

- ベトナムに自生
- イラクサ科
- 8℃以上
- 和名:アサバソウ
- 流通名:アルミニウム プランツ

半日陰を好むが、光線が不足すると徒長する。灌水が多いと根腐れを起こす。



フィクス エラスティカ
Ficus elastica

- 熱帯アジアに広く分布
- クワ科
- 5℃以上
- 和名:インドゴムノキ

耐陰性は強いが、本来は陽光を好む。カイガラムシに注意。



フィクス プミラ 'サニー'
Ficus pumila cv. Sunny

- 原種は本州以南の日本からインドまで広域に分布
- クワ科
- 3℃以上
- 和名:オオイタビ

耐陰性は強いが、陽光下でも育つ。湿度を高めに保つ。カイガラムシに注意。



フィクス ベンジャミナ
Ficus benjamina

- インド、東南アジアに自生
- クワ科
- 5℃以上
- 流通名:ベンジャミン
- ベンジャミンゴムノキ

耐陰性はあるが、本来は陽光を好む。伸びた枝は形よく切り詰める。カイガラムシに注意。



フィクス ベンジャミナ
'スターライト'
Ficus benjamina cv. Star Light

- 原種はインド、東南アジアに自生
- クワ科
- 5℃以上
- 流通名:斑入りベンジャミン

耐陰性はあるが、本来は陽光を好む。伸びた枝は形よく切り詰める。カイガラムシに注意。



プテリス
Pteris

- 暖帯から熱帯に広く分布
- ワラボ科
- 5℃以上

日陰で育つ。葉焼けに注意。空中湿度を高めに保つ。葉が枯れたら株元まで切り戻して再生させる。



プラティケリウム
Platycerium

- 世界の熱帯に広く分布
- ウラボシ科
- 3℃以上
- 和名:ビガクシダ
- 流通名:コウモリラン

高温多湿を好む。夏のみ半日陰にする。低温時には灌水を控える。



プレクトランツス
Plectranthus

- 熱帯・亜熱帯アジア、アフリカ、オーストラリアに分布
- シン科
- 8℃以上

日陰～半日陰を好む。強光線による葉焼けに注意するが、光線が不足すると徒長し、花付きが悪くなる。



フィクス ミクロカルパ
Ficus microcarpa

- 日本(種子島、屋久島、琉球諸島)、台湾、中国南部からマレーシア、ミクロネシア、熱帯アジア、ニューギニア、オーストラリア北部の熱帯、亜熱帯に分布
- クワ科
- 5℃以上
- 和名:ガジュマル

耐陰性はあるが、本来は陽光を好む。伸びた枝は形よく切り詰める。カイガラムシに注意。



フィットニア ウェルシャフェルティアルギロネウラ
Fittonia verschaffeltii var. argyreoneura

- 南アメリカのアンデスの多湿森林地に自生
- キツネノマゴ科
- 10℃以上
- 流通名:シロアメグサ

高温、半日陰を好む。株元が蒸れやすいので、葉が密になりすぎた株の灌水に注意。カイガラムシに注意。



フェニクス ローレイリー
Phoenix loureirii

- インド～ベトナム南部、中国南部に分布
- ヤシ科
- 3℃以上
- 和名:ソテツジュロ
- 流通名:フェニクス、ロベ

強健。陽光を好む。根詰まりによる水切れに注意。カイガラムシに注意。



ベゴニア レクスカルトルム
Begonia rex-cultorum

- オーストラリアを除く熱帯、亜熱帯に分布
- シュウカイドウ科
- 8℃以上
- 和名:レックスベゴニア

高温多湿、日陰～半日陰を好む。葉に発生する各種の病気に注意。



ヘデラ カナリエンシス
Hedera canariensis

- カナリー諸島、マデイラ諸島、北アフリカに分布
- ウコギ科
- 0℃以上
- 和名:カナリーキヅタ
- 流通名:アオオカメヅタ

本来は強光を好むが、耐陰性も強い。伸び過ぎた枝は随時切り詰める。ハダニ、カイガラムシに注意。



ヘデラ ヘリックス
Hedera helix cv.

- 原種はヨーロッパ、北アフリカ、アジア、カナリア諸島に分布
- ウコギ科
- 0℃以上
- 和名:セイヨウキヅタ
- 流通名:イングリッシュ アイビー

本来は強光を好むが、耐陰性も強い。伸び過ぎた枝は随時切り詰める。ハダニ、カイガラムシに注意。



ペペロミア オブツシフォリア
‘ヴァリエガタ’
Peperomia obtusifolia cv. Variegata

- 原種はメキシコから南アメリカ北部、西インド諸島に分布
- コショウ科
- 8℃以上
- 和名: キフペペロミア

耐陰性は強く、半日陰を好む。強光線による葉焼けに注意。水のやりすぎによる根腐れに注意。



ホヤ カルノサ ‘ヴァリエガタ’
Hoya carnosa cv. Variegata

- 原種は日本、中国、オーストラリアに自生
- ガガイモ科
- 5℃以上
- 和名: フイリサクララン

強光線を好むが、夏の直射日光のみ避ける。花を付けるためにはツルは切らずに伸ばしておく。カイガラムシに注意。



マランタ レウコネウラ
Maranta leuconeura

- ブラジルに自生
- クズウコン科
- 12℃以上

高温多湿、半日陰を好む。低温時の過湿、カイガラムシに注意。



ユーフォルビア トリゴナ
Euphorbia trigona

- 熱帯西アフリカに自生
- トウダイグサ科
- 5℃以上
- 流通名: 彩雲閣

陽光を好む。乾燥に強い。低温時は極端に乾かし気味にする。カイガラムシに注意。



ユーフォルビア ミリース
スプレデンシス
Euphorbia milii var. splendens

- マダガスカルに自生
- トウダイグサ科
- 0℃以上
- 流通名: ハナキリン

陽光を好む。直射日光下がよい。乾燥に強い。低温時の過湿、カイガラムシに注意。



ユッカ エレファンティペス
Yucca elephantipes

- メキシコ南部からグアテマラにかけて分布
- リュウゼツラン科
- 3℃以上

強健。耐陰性もあるが、本来は陽光を好む。カイガラムシに注意。



ミューレンベッキア
コンプレクサ
Muehlenbeckia complexa

- ニュージーランドに自生
- タデ科
- 0℃以上
- 流通名: ワイヤープランツ

耐陰性も比較的あるが、できるだけ陽光下で育てる。低温には強い。



ムサ アクミナタ
Musa acuminata cv.

- 原種はマレー半島に自生
- バショウ科
- 10℃以上
- 和名: バナナ

強健だが低温に弱い。一度結実した株は再び実を付けることがないので、子株を育てる。カイガラムシに注意。



モンステラ デリキオサ
Monstera deliciosa

- 熱帯アメリカに分布
- サトイモ科
- 3℃以上
- 和名: ホウライショウ

強健。耐陰性が強い。強光線による葉焼けに注意。



ラピス エクセルサ
Rhapis excelsa

- 中国南東部に自生
- ヤシ科
- 3℃以上
- 和名: カンノンチク

耐陰性が強い。葉焼け、強風による葉傷みに注意。極端な水切れをさせない。



ラピス フミリス
Rhapis humilis

- 中国南部から南西部に分布
- ヤシ科
- 3℃以上
- 和名: シュロチク

耐陰性が強い。葉焼け、強風による葉傷みに注意。極端な水切れをさせない。



ローデア ジャポニカ
Rohdea japonica cv.

- 原種は日本と中国に分布
- ユリ科
- 3℃以上
- 和名: オモト

強健。耐陰性が強い。暖房による高温乾燥を嫌う。

緑の相談

「咲き終わった花の手入れはどうしたらいいの？」
「肥料はいつ何をやればいいの？」といったご相談はありませんか。
こうした園芸に関するさまざまなご相談に、
専門知識を持ち経験豊かな「緑の相談員」が
ていねいにお答えします。
直接お越しになるか、お電話でもご相談をお受けしています。

豊平公園緑のセンター

豊平区豊平5条13丁目

〔開館時間〕

●午前8時45分から午後5時15分まで

〔休館日〕

●毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)
●12月29日から翌年1月3日まで

緑の相談

〔相談日・時間〕

●上記休館日を除く毎日
●午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

TEL 011-811-9370

みどりの図書

〔閲覧時間〕

●午前8時45分から午後5時15分まで

みどりの図書

園芸、緑化、自然などに関する
書籍や雑誌類をそろえ、自由
にご覧になることができます。

百合が原緑のセンター

北区百合が原公園210番地

〔開館時間〕

●午前8時45分から午後5時15分まで

〔休館日〕

●毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)
●12月29日から翌年1月3日まで

緑の相談

〔相談日・時間〕

●毎週水、木、土、日曜日
●午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

TEL 011-772-3511

みどりの図書

〔閲覧時間〕

●午前8時45分から午後5時15分まで

温室観覧料

●大人(高校生以上).....130円
●中学生以下・65歳以上 無 料
(敬老手帳などをご提示ください)



平岡樹芸センター

清田区平岡4条3丁目1-1

〔開園時間〕

●午前8時45分から午後5時15分まで

〔休園日〕

●毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)
●11月4日から翌年4月28日まで

緑の相談

〔相談日・時間〕

●4月29日から11月3日の間の、毎週水、
木、土、日曜日
●午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

TEL 011-883-2891

みどりの図書

〔閲覧時間〕

●午前8時45分から午後5時15分まで

麻生緑の相談室

北区北39条西5丁目(麻生総合センター内)

緑の相談

〔相談日・時間〕

●12月29日から翌年1月3日を除く
毎週火、水、金、土曜日
(これらの曜日が祝日の場合は、
同じ週の木曜日が代替相談日)
●午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

TEL 011-757-1003

みどりの図書

〔閲覧時間〕

●午前10時から午後4時まで

札幌市都市緑化基金



緑あふれる街づくりのため 札幌市都市緑化基金の 募金にご協力をお願いします

都市の緑は、私たちの生活に
四季折々の季節感や心のゆとり、やすらぎ、うるおいなど、
かけがえのない充足感を与えてくれます。

札幌市は、道路、公園などの公共施設の緑化をはじめ、
市民の方々のご協力を得ながら地域の緑化に努めて、現在、全国でも屈指の
緑豊かな街になりつつあります。

しかし、街全体が緑と花と木陰に包まれた
「ゆとりとうるおいのある街」を実現するためには、公園などの
公共施設の緑だけではなく、個人の住宅や事業所の周辺など
民有地の緑化が不可欠です。

札幌市都市緑化基金は、市民の皆様から
寄付していただいたお金を積み立て、その果実(利子)で民有地の緑化を
進めていこうとするものです。

私たちの街札幌を次代の市民に誇れるより緑豊かな
魅力ある街にするため、「札幌市都市緑化基金」の積み立てに
市民の皆様の暖かいご協力を賜りますよう
お願い申し上げます。

札幌市都市緑化基金はこのような事業を実施しています

記念樹プレゼント

市民を対象に、結婚、出産、
新築などの人生の節目を
記念する慶事に対して、ラ
イラック、ツツジ、ウメなど
10種類ほどの中から希望
の苗木をプレゼントしてい
ます。応募は往復はがきで。
返信用はがきが引換券と
なります。「広報さっぽろ」
などでお知らせします。



ツタ苗の補助

【対 象】市内の住宅、事業所
等の壁面、法面など。

【補 助 数】植え込み予定の50%
(最大15本まで)

【申し込み】春秋の年2回。
「広報さっぽろ」でお知
らせします。



フラワーポットの貸し出し

【対象】市内の町内会、自治会、
商店街などの団体

【個数】1団体あたり30個以上
100個まで

【規格】70cm×24cm×20cm

【期間】3年間継続

【申し込み】年1回春のみ

【その他】「広報さっぽろ」などでお知らせします。貸し出しの
初年度のみ、培養土と花苗を1ポットあたり5株提
供します。



その他の 事業



緑化手引き書の発行



フラワースタンドの設置



コンテナツリーの設置



緑の絵コンクール



緑と花のフォトコンテスト



緑化パネルの展示



緑化イベントへの協力

都市緑化基金の募金にご協力を

都市緑化基金の事業は、皆様からの募金によって
まかなわれています。

地球環境を守り、緑があふれ、うるおいのある美しい街をつくるために、
都市緑化基金へのご協力をお願いいたします。



基金箱の 設置場所

百合が原公園、
豊平公園、厚別公園など
大きな公園施設の窓口のほか、
各区役所などにも
設置しております。

この冊子も基金の果実で作成しています。

● 基金に関するお問い合わせは ●



札幌市環境局緑化推進部緑の保全課

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館6階

TEL 011-211-2532

財団法人 札幌市公園緑化協会

〒060-0051 札幌市中央区南1条東2丁目 南1条タカハタビル2階

TEL 011-211-2579